



## スキー場照明LEDに

# 維持費節約と環境対策

【ニセコ】スキー場のナイター照明に発光ダイオード（LED）を導入するた  
めの実験がニセコアンヌプリ国際スキー場のダイナミックコースで行われた。消費電力が少なく、寿命の長い照明の導入で維持費を節約し、二酸化炭素排出量の

## ニセコで導入実験

削減をPRしたい考えた。町は2012～14年度に街路灯全700基をLED化。昨年、国の環境モデル都市に認定されて、本年度からは民間施設も含め、本格的に町内のLED化を推進している。中でも二酸化炭素排出量の半分を占める観光業対策が最重要課題だ。

町の環境エネルギー戦略アドバイザーを務めるLED販売業あかりみらい（札幌）の越智文雄社長が実験を企画。同スキー場を経営する中央バス観光開発（小樽）の菊井隆則ニセコ観光事業部長や町職員ら約10人が参加した。

4月23日夜に行われた実験では4種類のLEDを点灯し、光が届く距離を比較。約200坪先まで照らす製品もあり、菊井部長は「明るさや光の広がりには十分」と評価した。

ただ、LEDは発熱量が少なく、ランプに着いた雪が溶けずに光を遮る懸念がある。同スキー場は来冬、一部の照明をLED化して実用性を試す実験の実施を検討する。町は町環境審議会に観光業者向けの部会を設け、他のスキー場にもLED化を呼び掛ける。

（生田憲）